

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市将監児童センター	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 20,471人(前年度比 104.0%) 令和4年度 19,687人 令和3年度 13,760人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 28,023千円 (32,926千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童センター運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/19

### 三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>「地域の中で生き生きと活動する子どもたち」を重点目標に掲げ、子どもたちと地域をつなぎ、子どもたちの自立する力を育む取り組みを実施してきました。</p> <p>児童健全育成事業では、「児童センターまつり」のオープニングでダンスクラブの練習の成果を発表し、クラブ員は日々の練習への取り組みを確認し合い、交友関係を深めることにつながりました。まつりでは中学校2校の生徒もスタッフとしてコーナーの運営に携わり、子どもたちの活動を地域に発信することができました。また、「お正月あそびを楽しもう！」では、近隣児童館や地域の老人会と連携・協力して、大型カルタ・こま回し・羽子板など懐かしいお正月あそびを通して、小学生と高齢者等地域の方々との交流を図ることができました。</p> <p>子育て家庭支援事業の「ころころたいむ」「とことこたいむ」では、乳幼児親子が無理なく楽しめる内容を工夫したことで、気軽に参加してもらうことができました。また、季節の行事「クリスマス会」「おおきくなったね」等では、月齢差を広げ異年齢交流につなげました。</p> <p>地域交流推進事業では「みんなの将監プロジェクト」の中で「七夕飾りをつくろう！」を企画し、子どもたちが地域の折り紙サークルの方々や大きな七夕飾りを制作し市民センター内に展示し、地域活動に貢献しました。また、3児童館の連携事業では、七夕飾り作りやハロウィン大会、音楽会を企画し、多くの乳幼児親子同士の交流を推し進め、各児童館の利用促進にもつながりました。</p> <p>放課後児童健全育成事業では、マンネリ化する自由遊びの対応として、職員が遊びのアイデアを提案し、週1回のミーティングを設けたことで、子どもが話し合いながら遊びの幅を広げ自ら遊ぶ機会が増えました。</p> <p>今後も、地域とともに子どもが自立する力を育むための取り組みを進めてまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、近隣2校の中学生による行事の手伝いや児童センターまつりのコーナー運営の他、小学生と遊びを通じた交流等の自主的な活動をサポートしリーダー育成を推し進めた。また地域の人材を活かした「折り紙ひろば」「絵本の広場」等の文化的な活動の他、令和5年度はダンスクラブを立上げ、地域の方の指導の下、児童センターまつりや市民センターまつりでの発表を目標に日々の活動を通して異年齢交流が深まった。これらの行事により子ども達が地域の方と密接に関わりを持ちながら育つ環境作りに努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、おはなし会や親子のふれあい遊び等の定例行事他、「はじめまして」から始まる年齢に縛りのない季節の行事を年間通して開催し、乳幼児に豊かな遊びの場を提供するとともに保護者同士の交流の場となっている。また「ZUMBA」「ビューティーBodyWAVE」が子育て支援クラブによる見守り、協力で定期的に行われ、子育ての息抜きトリフレッシュの場となっており参加者から好評を得ている。</p> <p>地域交流推進事業においては、乳幼児親子対象の3館連携事業の他、複合施設として市民センター、みんなのサロンと連携し取り組んでいる「みんなの将監プロジェクト」では、子ども達が主体的に地域に参画できる環境を整えて活動をサポートした。施設の外フェンスを飾る掲示物の作成や七夕飾りのサロンへの展示等、地域の方の協力体制のもと充実した事業を展開している。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、市民センター主催の子ども救命講習参加や子育て支援クラブの協力で通学路の危険箇所マップを作成している他、施設内外の事故の場所を示した図を館内に掲示し、可視化する等、安全教育に努めている。また子どもの意見表明の場として、週1回のミーティングからかえりの会に場を変え、子どもが自由に意見を述べ主体的に生活できるように支援している。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課